

災害から命を守り、安全・安心＋快適に暮らせる東京

自助

自分の命は
自分で守る



地震による火災や延焼等の防止

グラビたスイッチ（感震ブレーカー）の設置により、地震の強い揺れを感知して、電気を自動的に遮断し、電気火災を防止
消火器の設置などの初期消火対策も推進



家具類転倒防止対策

近年の地震による負傷者の30～50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因

家具類転倒防止対策により被害を軽減

共助

地域みんなで
助け合う



マンション防災の充実強化

災害時も生活継続しやすい「東京とどまるマンション」への支援を通じて、周辺地域との連携を促進



地域コミュニティのつながり強化等により防災力を向上

生活に密着した場所に出向し訓練できる小型化したVR防災体験車を導入
地域の団体同士が連携した防災訓練を推進



公助

都民の生命を
守り抜く

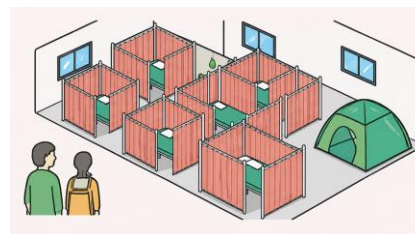


災害時でも利用できるトイレ整備



地域の実情に応じて必要となる様々な災害用トイレの整備に向け、区市町村への支援を実施

避難所の生活環境向上



避難所の生活環境向上に向け、簡易ベッドや屋内型仕切り・テント等の資機材について、区市町村への支援を実施



区市町村における
グラビたスイッチ（感震ブレーカー）設置支援制度



自宅での家具類の
転倒・落下・移動
防止対策



東京とどまる
マンション



防火防災訓練
ポータルサイト



災害時の
トイレ対策